

第9回科学技術交流フォーラム

大規模太陽電池の技術開発及び 基礎技術の波及効果

開催趣旨

科学技術交流フォーラムは、東京大学産学連携協議会会員企業等を対象として、東京大学研究者が研究成果や「知」を発信する「産学出会いの場」です。

本フォーラムが産学連携の契機となり、近未来の社会・経済にとって「解を出すべき技術課題」に対して、専門分野・産業界を横断したチームが形成され、産学連携活動を企画・実行し、その課題解決が図られることを目指しています。

今回の第9回フォーラムにおきましては太陽光発電を取り上げます。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第4次評価報告書では気候システムの温暖化が人為起源の温室効果ガスの増加によるものであることが初めて断定されました。本フォーラムでは、社会インフラと技術の両面から、二酸化炭素排出増大に伴う地球規模の温暖化防止を視野に、大規模太陽電池の技術開発及び基礎技術の波及効果に焦点を当て、その現状と将来に向けた挑戦を取り上げます。

プログラム

開会挨拶 13:30~13:35	藤田 隆史(東京大学 産学連携本部長)
講演 1 13:35~14:20	「太陽光発電の現状と将来」 佐賀 達男(シャープ株式会社 ソーラーシステム事業本部次世代要素技術開発センター所長)
講演 2 14:20~14:50	「CO ₂ 排出削減シナリオと太陽光発電」 藤井 康正(東京大学 大学院新領域創成科学研究科 准教授)
講演 3 14:50~15:20	「太陽光発電の技術的・政策的普及支援策」 浅野 浩志(東京大学 大学院工学系研究科 教授)
15:20~15:35	休憩
講演 4 15:35~16:05	「太陽電池用シリコン精製プロセスの新展開とその物理化学 ー低コスト大量生産技術を目指してー」 森田 一樹(東京大学 生産技術研究所 教授)
講演 5 16:05~16:35	「メゾプラズマCVDによるSi厚膜の高速堆積」 吉田 豊信(東京大学 大学院工学系研究科 教授)
講演 6 16:35~17:05	「太陽電池の極限高効率化とシリコンフォトニクス」 和田 一実(東京大学 大学院工学系研究科 教授)
講演 7 17:05~17:35	「次世代太陽光発電としての色素増感太陽電池の展望」 瀬川 浩司(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)
閉会挨拶 17:35~17:40	太田 与洋(東京大学 産学連携本部 教授・産学連携研究推進部長)
18:00~20:00	交流会 司会 眞峯 隆義(東京大学 産学連携本部 特任教授)

2007年 10月30日(火)
13:30~17:40

【フォーラム】東京大学山上会館 2階大会議室(本郷キャンパス)

【交流会】東京大学山上会館 地階食堂

主催：東京大学産学連携協議会運営本部(東京大学産学連携本部内)

参加定員 150名/事前登録制(先着順)

申込締切 10月26日(金)

参加費 フォーラム:無料/交流会:3,000円

申し込み 東京大学産学連携協議会運営本部事務局(東京大学産学連携本部内)
問い合わせ先 <http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/kyogikai/forum/>

